

1 貧困をなくそう



# あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に 終止符を打つ

今の傾向が続けば

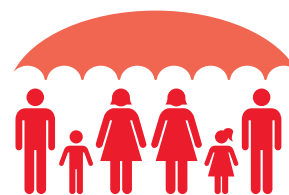


2030年までに

**5億7,500万人**が依然として極度の貧困の中で暮らすことに

国民の貧困水準を半減できる国は **3分の1** のみに

生活費の危機に対して



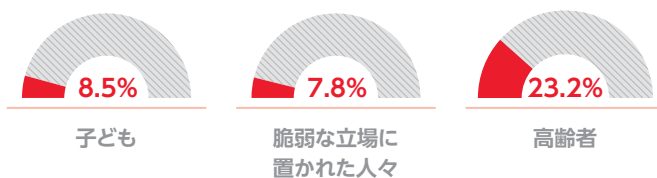
**105カ国**が

過去12カ月で

およそ350件の社会的保護措置を発表  
(2022年2月-2023年2月)

世界では、脆弱な立場に置かれた人々の多くが依然として社会的保護を受けられていない

低所得国においては、わずか



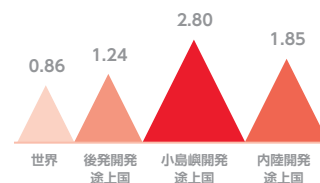
が、社会的保護として現金給付を受けた

(2020年)

後発開発途上国、小島嶼開発途上国および内陸開発途上国は

災害に対しより高い脆弱性に直面

人口10万人当たりの死者・行方不明者の年間平均数  
(2012年-2021年)



世界各国は、2015年以降、不可欠なサービス(教育、保健、社会的保護)への政府支出を増額





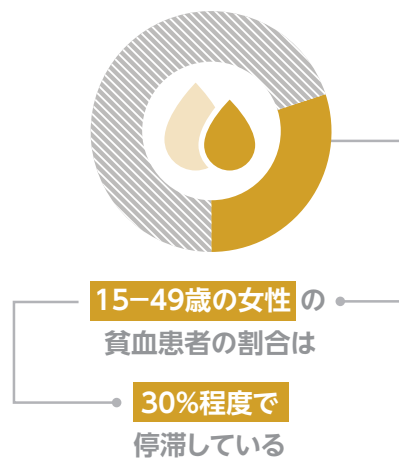
# 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する

## 飢餓ゼロの目標は 危機に瀕している



世界全体で**6億**人以上が  
2030年に飢餓に直面すると予測

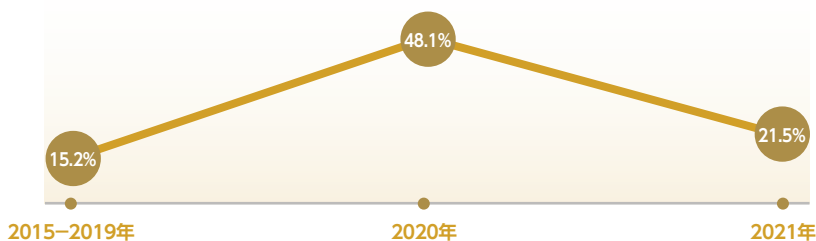
2000年以降、世界の  
貧血患者を減らす取り組みは  
ほとんど、あるいは  
まったく進んでいない



2021年には低下したものの、

食料価格の高騰が引き続き多くの国々を苦しめている

中程度から異常な高さにまで  
食料価格が高騰している国々の割合



3人に1人が



世界で中程度または深刻な  
食料不安に直面

栄養不良が世界中にはびこり

子どもの**ウェルビーイング**と**将来的な発達**を脅かしている

5歳未満児を襲う  
栄養不良のかたち  
(2022年)



发育障害  
1億4,800万人



消耗性疾患  
4,500万人



過体重  
3,700万人



# あらゆる年齢のすべての人々の 健康的な生活を確保し、福祉を推進する

## グローバルヘルスの改善 に向けて著しい進捗が見られた



200のうち146の  
国・地域が、5歳未満児の  
死亡率目標を

すでに達成または達成見込み



効果的なHIV治療により  
世界全体でのエイズ関連死が

2010年以降で52%減少



「顧みられない熱帯病」の  
少なくとも1つが

47カ国で根絶された



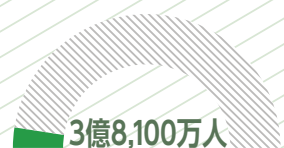
2021年に  
2,500万人の子どもが  
重要な定期予防接種を  
受けられなかった  
.....  
2019年と比べて  
600万人増加

## 世界中で マラリアの症例が急増



## 医療費の自己負担分が

増加またはさらに増加



(世界人口の4.9%)が

極度の貧困に

2分毎に  
1人の女性が  
妊娠・出産に関連する  
回避可能な  
原因で死亡

(2020年)



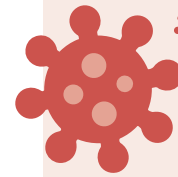
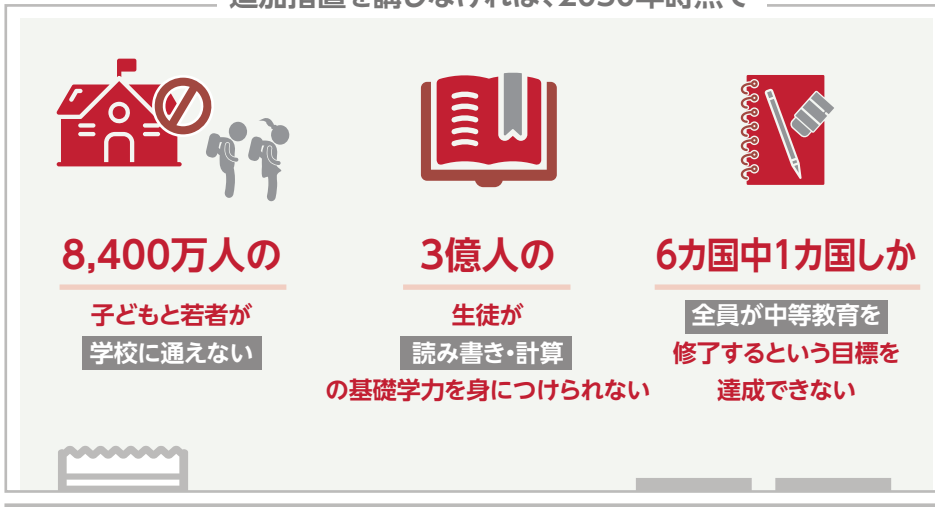


# すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

..... ゆっくりと前進しているものの .....

## 世界は質の高い教育の実現からはほど遠い

追加措置を講じなければ、2030年時点で



コロナ禍により



調査した  
104カ国中の  
5カ国に4カ国  
で学習機会が  
失われた

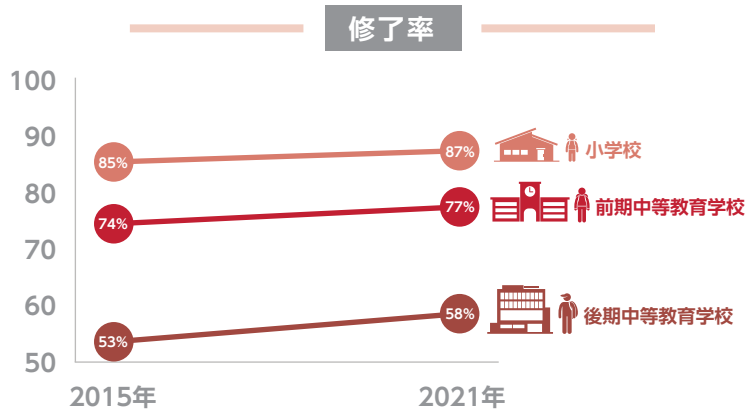


低所得国と  
下位中所得国では  
教育目標を  
達成するための  
資金が年間

**1,000億ドル**

近く不足している

## 初等・中等教育の修了率は上昇しているものの、スピードは遅く均一でない

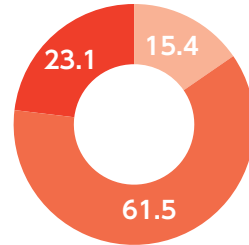




# ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と 女児のエンパワーメントを図る

## 世界は 2030年までにジェンダー 平等を達成するための 軌道から外れている

SDGs目標5の指標のうち



- 軌道に乗っている
- ある程度外れている
- 大きく、または非常に大きく外れている

### 今このペースのままだと



児童婚がなくなるまでに  
**300年**かかる



法的保護の空白を埋め  
差別的な法律を撤廃するまでに  
**286年**かかる



職場でのリーダーシップが  
男女平等になるまでに  
**140年**かかる

## 政治の場での平等を達成する 上でジェンダー・クォータ制の 法制化が**有効**

議会における女性議員の割合

(2022年)



**30.9%**

クォータ制  
導入国

**21.2%**

クォータ制  
未導入国



既婚女性の**半数近く**が  
性と生殖に関する健康と権利について  
意思決定する力を持っていない

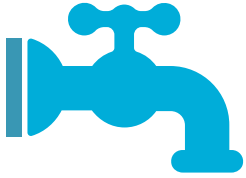
若い女性の**5人に1人**が

18歳の誕生日を迎える前に  
結婚している





# すべての人々に水と衛生へのアクセスと 持続可能な管理を確保する



安全な飲料水、  
衛生施設 および 手洗い設備を  
依然として数十億人が  
利用できていない

2022年には



22億人が  
安全に管理された  
飲料水を  
利用できず



35億人が  
安全に管理された  
衛生施設を  
利用できず



22億人が  
基本的な  
手洗い設備を  
利用できず

2030年の目標を達成するには

前進のスピードを加速させる必要がある

6倍に  
飲料水

5倍に  
衛生施設

3倍に  
手洗い設備

24億人が  
水ストレスを  
抱えた国で

暮らしている

(2020年)

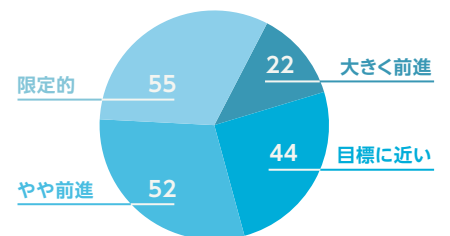
内陸湿地帯に  
依存する

種の81%が

1970年以降に減少

統合的な  
水資源管理の導入を  
加速する必要がある

前進の段階別に見た国の数





# すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ 近代的なエネルギーへのアクセスを確保する

**灯りがない：**  
**6億7,500万人が**  
依然として暗がり暮らししている



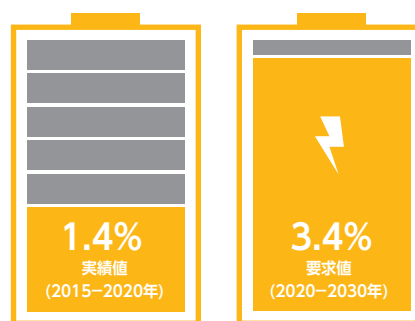
今の傾向が続けば



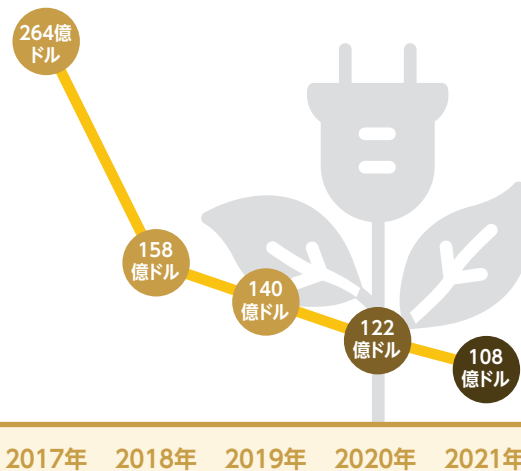
2030年の時点で、4人に1人が依然として  
安全でない非効率な調理システムを使用

エネルギー効率の向上スピードを  
現在の **2倍超** にしなければならない

エネルギー強度の改善率(年間)

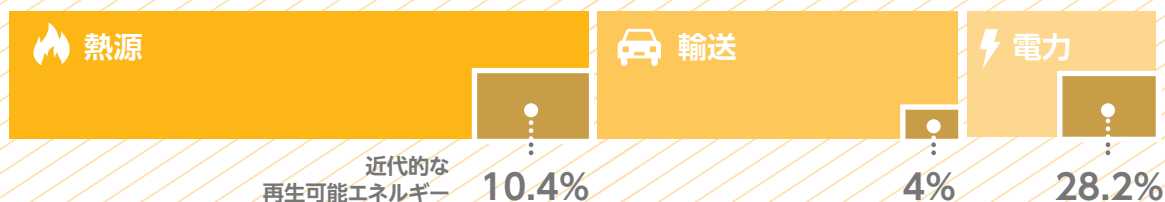


クリーン・エネルギーのための  
開発途上国向け  
国際公的資金供与は **減り続けている**



近代的な再生可能エネルギーは、電力の**30%近く**を供給

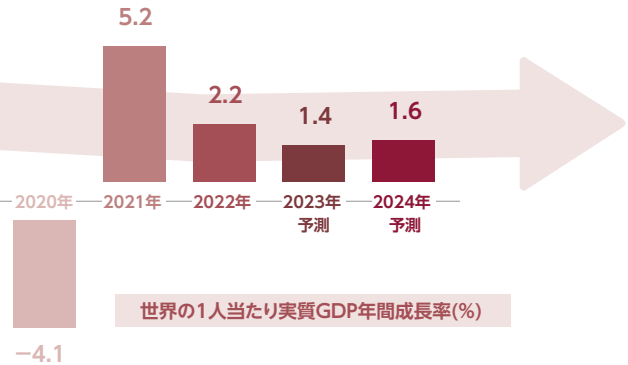
しかし熱源と輸送においては依然として低いまま (2020年)





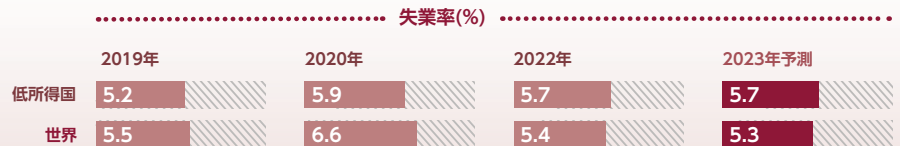
すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、  
生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する

## 世界経済は 回復を続けているものの その軌道は緩やか



20億人の  
労働者が  
社会的保護のない  
不安定で  
インフォーマルな  
仕事に従事  
(2022年)

世界の失業率はコロナ禍前の水準を  
下回ると見込まれるが  
低所得国では見込めず



若者の4人に1人が  
就学も就労も  
訓練受講もしていない



この状況にある  
若い女性の数は  
若い男性の2倍超と見られる  
(2022年)



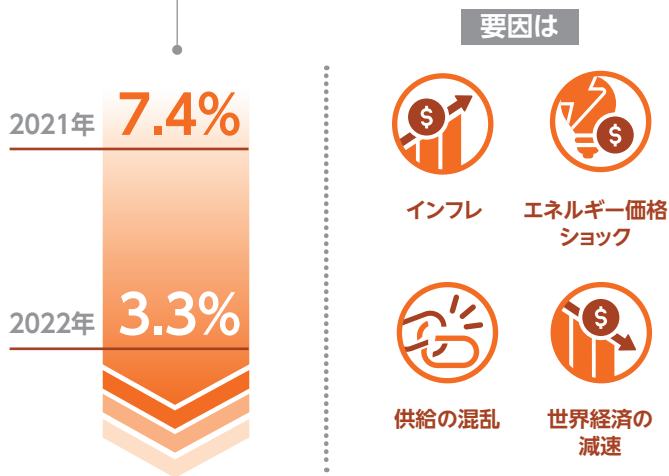
コロナ禍において、低・中所得国の  
成人の10人に4人が  
初めて銀行口座を開設





レジリエントなインフラを整備し、包摂的で持続可能な  
産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る

## 世界の製造業の 成長スピードが鈍化



エネルギー関連の

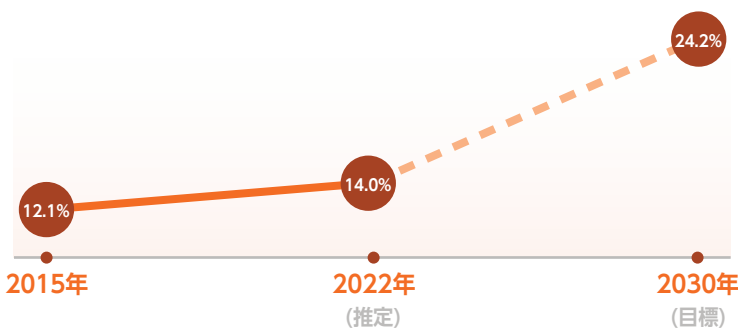
CO<sub>2</sub>排出量は

2022年に  
**368億**  
メートルトンに達した  
過去最大値



後発開発途上国は、GDPに占める製造業割合を  
2倍にする2030年目標を達成できそうにない

後発開発途上国の製造業のGDP占有率

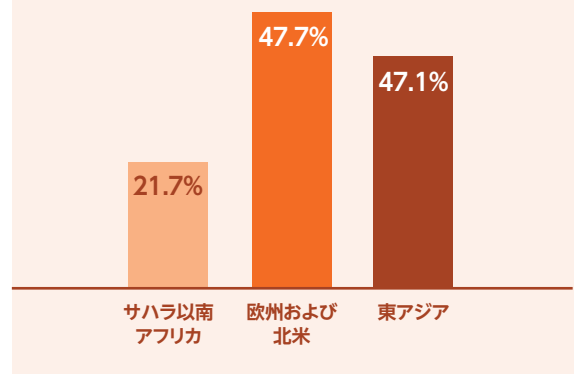


中高度および高度先端技術  
産業は

2022年に力強く成長した

しかし地域によって差がある

製造業全体における割合



82%

サハラ以南アフリカ

68%

オセアニア\*  
(\*オーストラリア、  
ニュージーランド除く)

世界の95%が

モバイル・ブロードバンド (3G以上) にアクセス可能 (2022年)

しかしサービス対象エリアは、サハラ以南アフリカでは82%、オセアニア\*では68%にとどまる





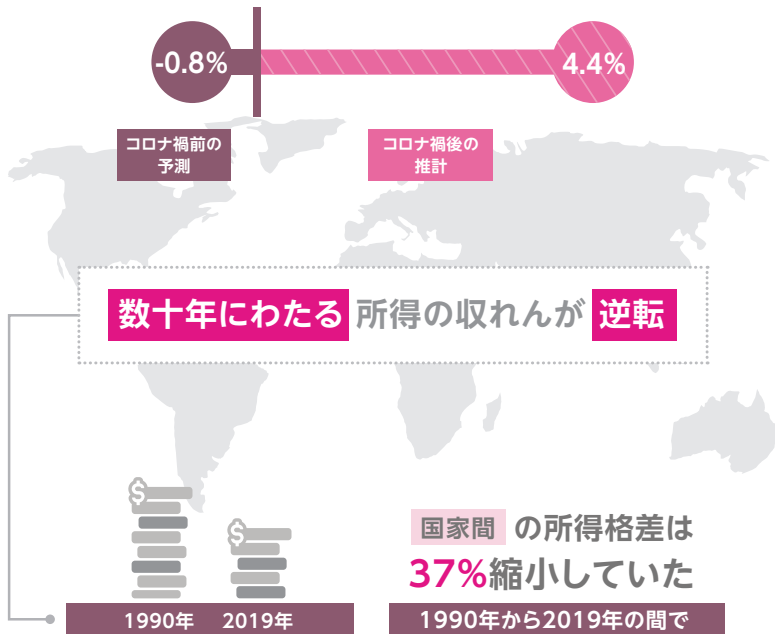
# 国内および国家間の不平等を是正する



## コロナ禍により

国家間の不平等が過去30年間で最大の増加

国家間の不平等の変化  
(2019-2020年)

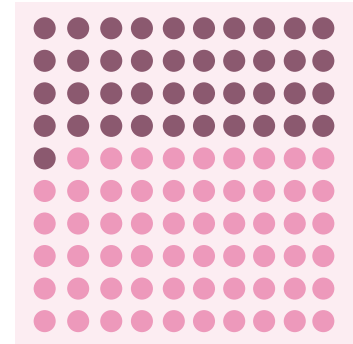


2022年に  
難民の数が過去最多に

**3,460万人**

そのうちの

- 子どもの割合: 41%



世界全体で  
性別に基づく差別を  
経験したとの報告件数は  
女性が男性の2倍



2022年には  
移住の途上で7,000人近くが  
痛ましくも命を落とした

安全な移住を確保するための緊急対策が  
急務なことは明らか



# 都市と人間の居住地を包摂的、安全、 レジリエントかつ持続可能にする

スラムが  
増加中

11億人の  
都市住民が  
スラムで  
暮らしている (2020年)

今後30年間にさらに  
20億人増加する見込み



世界全体で

公共交通手段に  
簡単にアクセスできる  
都市住民は

2人に1人だけ  
(2022年)



大気汚染はもはや  
都市に限った問題ではない

東アジアと  
東南アジアでは



都市よりも町で  
大気質が悪化 (2019年)



10億人が舗装された道路に  
アクセスできない (2022年)

開発途上国では

世界の  
4都市のうち3都市で



公共空間と街路に  
割り当てられた面積が  
20%未満

目標の45-50%に  
はるか及ばず  
(2020年)



# 持続可能な消費と生産のパターンを確保する

## 高所得国 は 低所得国 よりも

大きな環境フットプリント を残している

高所得国の1人当たりマテリアル・フットプリントは

低所得国の **10倍**



### 段階的廃止の

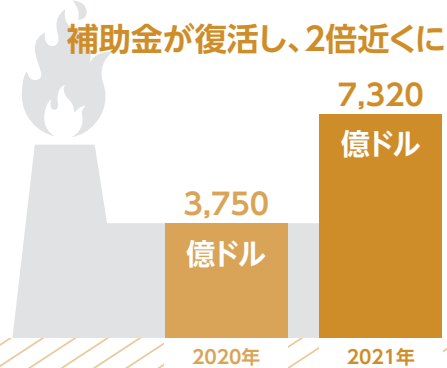
呼びかけにもかかわらず

複合的な

グローバル危機が

引き金となって化石燃料への

補助金が復活し、2倍近くに



平均で

1年間に

1人当たり

**120**

キログラムの

食料を無駄にしている

持続可能性

への道

62カ国とEUが

持続可能な消費と  
生産への転換に向けた

**485の政策を**

導入した

(2019–2022年)

企業の

持続可能性についての

報告は 2016年以降

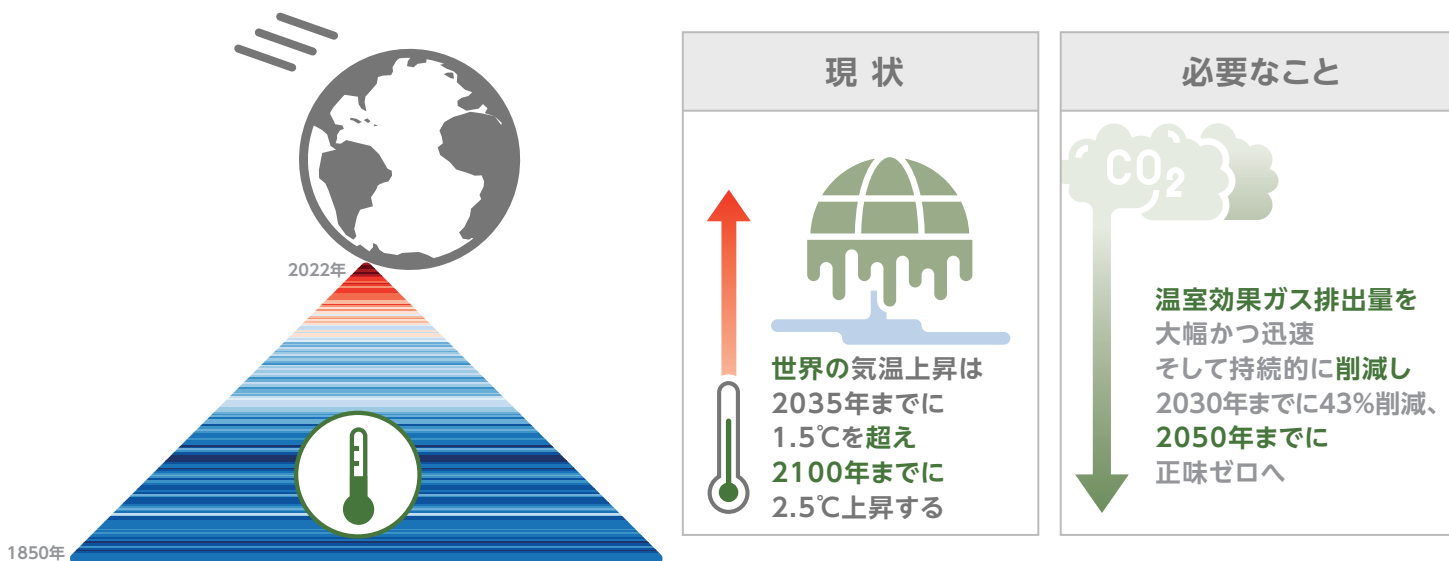
**3倍に増加**



# 気候変動とその影響に立ち向かうため、 緊急対策を採る

## 地球の 転換点

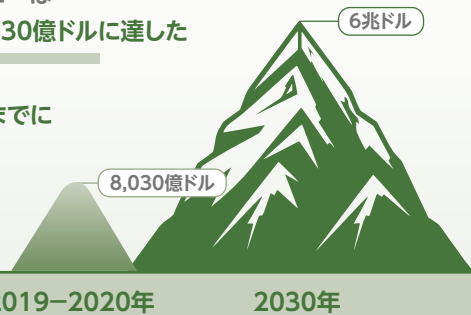
気候変動がもたらす惨禍は目前に



### 数十億から数兆へ：

世界の気候変動対策の資金フローは  
2019-2020年に年間平均8,030億ドルに達した

しかし、開発途上国は2030年までに  
6兆ドル近くを必要としている



海面上昇の  
スピードは  
この10年で

**2倍に**



脆弱性が高い地域では  
脆弱性が非常に低い地域よりも

災害による **死亡率が15倍高い** (2010-2020年)



# 海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて 保全し、持続可能な形で利用する

## 青い海を保全し、地球を守る

地球 **最大の生態系** を守るには  
緊急行動が必要

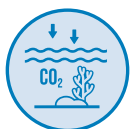


## 海洋の非常事態



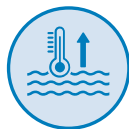
### 沿岸の富栄養化

青粉(藻類)や  
貧酸素海域の  
要因に



### 海洋の酸性化

産業革命以前と  
比べて  
30%上昇



### 海水温度の上昇

海面上昇と  
海洋生態系に  
悪影響



### プラスチック汚染

2021年には  
1,700万メートルトン  
2040年までに2-3倍に



### 魚の乱獲

世界の魚種資源の  
3分の1超が  
乱獲されている

### 市民科学による海岸清掃活動が

● 海洋プラスチック汚染の  
規模を明るみに ●



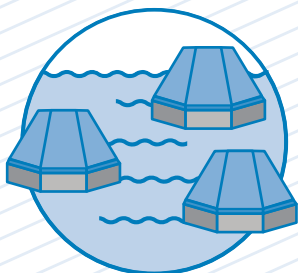
### 窒息する海

● 沿岸の富栄養化  
甲殻類が岸に押し寄せる原因に ●



### 海洋の酸性化

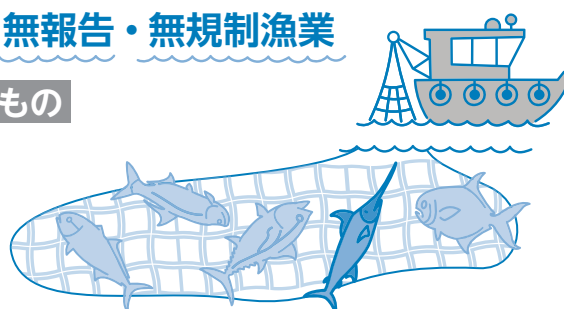
報告があった観測所は  
世界全体で3倍に



2021年：178カ所  
2022年：308カ所  
2023年：539カ所

### 漁獲された魚の5匹に1匹は

違法・無報告・無規制漁業  
によるもの





陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、  
森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止  
および回復、ならびに生物多様性損失の阻止を図る

## 人と自然との付き合い方

抜本的な転換が  
必要不可欠

増加の一途



森林消失



土地劣化



種の絶滅

人と地球に **深刻な脅威** をもたらす

# 1億

## ヘクタールの

健全で豊かな土地が  
2015年から2019年にかけて

毎年劣化した

グリーンランドの面積の

2倍に相当



世界は今  
**恐竜時代** 以来  
最大規模の  
生物種の絶滅に  
直面している



主要な生物多様性領域での  
保護区指定率は  
2015年以降  
停滞している

### 昆明・モンリオール生物多様性枠組が

陸域生態系の保全に向けた新たな推進力に



2050年までの**4つ**の成果志向のゴール



2030年までの**23**のターゲット



持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する

## 紛争に関連した 民間人の死者数が

急増



ウクライナでの戦争により加速し  
2022年に50%超急増

2021年には

20年間で  
最多となる  
意図的な殺人が発生

45万8,000人が死亡



犠牲者の10人中9人が男性

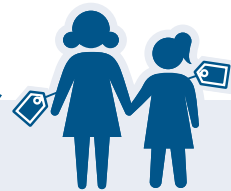


2022年末 時点で 世界各地で  
1億840万人

超が

故郷を追われた  
10年前の2.5倍

20万人  
近くの



人身取引の被害者が

2017年 から 2020年の間に  
世界各地で確認されたが

未確認の被害者が  
さらに多くいる可能性あり

## 政治における若者の代表性が低く

意思決定プロセスへの参加が妨げられている



30歳  
世界の年齢の中央値



51歳  
国会議員の平均年齢





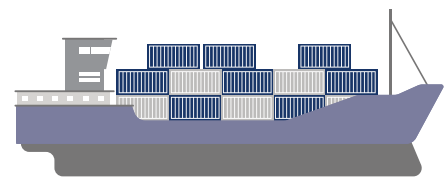
# 持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、 グローバル・パートナーシップを活性化する

## 多くの開発途上国が 債務危機に直面している



世界の最貧国  
69カ国中37カ国が  
債務に苦しんでいる、またはそのリスクが高い

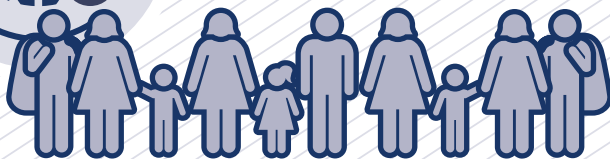
世界の貿易取引における  
後発開発途上国からの  
輸出の割合は



2011年以降

1% 程度で  
停滞

2022年の正味ODA総額は、2021年から15.3%増加し  
2,060億ドルに



主にドナー国内の難民への  
支出とウクライナへの支援

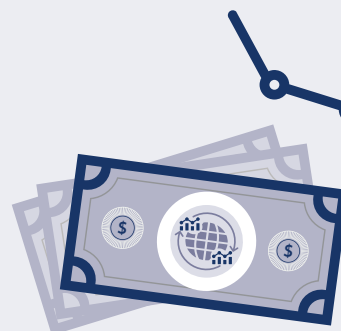
正味ODA総額は国民総所得の0.37%に  
達したが0.7%の目標には依然届かず

2022年には

3人に2人が  
インターネットを利用  
ユーザーは男性が女性より  
2億5,900万人多い



## データに対するODA資金提供



20% 超  
減少

(2018-2020年)